

去年の夏の学校での提案

→夏の学校を廃止してはどうか？

理由…事務局の負担があまりに大きい

・中尾さん「準備をしてきた人と参加者との間で夏の学校運営に理解の差があり、有意義な議論が出来なかった。今回は1時間の時間をもうけ事務局の仕事についてより知ってもらおう。」

夏の学校とは

- ・大学院生を中心とした若手研究者による研究会
- ・半強制ボランティア

夏の学校の目的

- ・若手促進
- ・交流の場

事務局の地区割り → 市外局番により地区割り

現状では博士課程に進学する学生は一度は事務局を経験

事務局の構成

—4役

—会場係

—寄付広告・会計係

—レジストレーション係

—広報・集録係

—分科会係

—ポスターセッション係

夏の学校スケジュール

- ・1年前に会場決定
- ・11月までに予算決定

事務局の負担

- ・夏の学校の準備には1年以上かかる

- ・コア会議は2時間以上×15回
- ・メール数も膨大→約5000通
- ・そのせいで体調を崩す人も
- ・参加者人数が増大→予算編成が難化→運営の負担増→開催の危機

事務局の負担が減らない理由

- ・事務局が毎年変わる&5年周期のため事務局内に経験者がいない。
- ・準備に1年以上かかるため、次年度に反省が反映できない。
- ・大人数を収容できるホテルが少ないため、会場が駅から遠くなり予算がよりかかる。

問題の解決策

☆事務局が毎年変わる&5年周期のため事務局内に経験者がいない。

解決策1

→持ち回り制を廃止し、大学ごとに係を固定する。

(問題点)人数の多い大学に担当が集中

解決策2

→サイクルを5年以下にする。

(問題点)人数の多い大学に担当が集中

解決策3

→次年度の事務局も前年度の事務局に加わる

(問題点)4役の負担増

☆大人数を収容できるホテルが少ないため、会場が駅から遠くなり予算がよりかかる。

解決策1

→前年度の夏の学校で次回を開催地を発表する習慣を廃止

(問題点)仕事がつまる

解決策2

→会場を都市部に固定

(問題点)会場の魅力が減る

解決策3

→合宿形式を廃止

(問題点)夏の学校と他の研究会との差別化が難しくなる。

■議題

- ・来年度以降に我々が取るべき対策について
- ・ ss14 で現在考えられている対策について

\* ss14 事務局員登壇

ss14 で予定している対策

- ・会場を5年周期で固定する。

なぜ？

→会場の選定作業の負担を減らすため。ただ毎年同じだとつまらん。5年周期ぐらいならいいのでは？

(会場)3年周期にしたら

(中尾)もともと5年周期だから、それを変えるには総会での承認が必要

(会場)会場も、事務局も3年周期にすれば

(会場)3年後本当に同じ会場が使えるのか？本当に効果はあるのか？保障がない。

(ss14)開催を9月の中旬にすれば高校生や観光客のピークともかぶらない。

(ss13 会場係)時期をズラすのは有効。今年は宮城の七夕祭りとかぶっていて駅近くのホテルには断られた。

(会場)5年周期は引き継ぎをするうえで長過ぎる。

(中尾)5年では同じ大学内で引継ができないし、引き継ぎ資料が古い。

(ss14)会場の周期と事務局の周期を一致させる必要はないのでは？

(中尾)物品の外部レンタルがなければ問題ない。

(会場)結局会場を一つにしちゃえばいいじゃん。

(中尾)皆さんの意見を聞きたい。研究会だから会場はどこでもいいと思うか？ Yes 1/3 , No 1/2

(中尾)自分が事務局になったと思ってください。それでも会場変えた方がいい？ Yes 2,3人

(会場)合宿形式やめようよ

(中尾)夏の学校のメリットが無くなり、予算が通りづらい。

(会場)3年周期で事務局を回し、事務局が前年度と同じ会場にするかを判断すれば良いのでは？

(会場)会場の問題を解決しても、仕事量まだまだ多くね？

(中尾)会計係も大変。だが、仕事を減らすのは無理。ただ会場係の負担は減らせそう。

(中尾)3年周期は担当大学が偏る。例えば、人数少ない大学は今後仕事が一切なくなる。主要大学の人の意見を聞きたい。

(ss13 会場係)少人数の大学が運営に携われないのは仕方がないので、運営サポーターに積極的に回ってもらってはどうか。

(中尾)毎年同じ大学に仕事が回ってくるのはどうなのか？負担をかぶる大学の方の意見を聞きたい。

(会場)特になし

(中尾)そろそろ時間だが、最後に意見のある人はいるか？

(会場)人数が多いから大変なのであって、規模を縮小すればいいじゃん。

(中尾)今年から質の向上のために、集録を事前提出制にした。結果ちょっと人数が減ったが、事前に人数を予測することは困難なので、多めに見積る必要がある。

(ss14)その結果、修士と博士の参加人数に変化はあったの？

(中尾)まだわからん。集計しとく。

(ss13 会場係)結局は修士の生徒が多い。

(会場)若手研究者の育成が目的なのに参加条件厳しくしてどうするのさ。

(中尾)天○台から質の低下の指摘を受け、それに応え集録の事前提出制にした。結果的に人数が減った。

(会場)天○台はなんでそんなこと言ってきたの？理由が分かれば対策しやすい。

(中尾)聞いてないし、定量的な根拠も見つけられなかったが、対策は必要と思い、”質の向上”ではなく”質の底上げ”を目指した。

(会場)質の低下を指摘した研究者も過去の夜の分科会のおかげでみんないい研究者になったのではないか？

(会場)合宿のメリットってぶっちゃけ夜の分科会(飲み会)しかなくね？

(中尾)質の向上や、公募企画での議論についてはアンケートがあるので、そこに意見を書いてもらいたい。